

第 118 回 技術講習会

「実務者のための振動の測定・予測・対策」開催報告

事業部会

第 118 回 技術講習会「実務者のための振動の測定・予測・対策」を、2019 年 12 月 5 日（木）に東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）にて開催致しました。今回の講習会は、日本騒音制御工学会としては初めて振動に特化したものであり、約 1 年間にわたって計画・準備を行ってまいりました。プログラムは、環境振動の調査や対策の実務に携わっている方々を対象として、振動に関する事項全般を 1 日で学べるように構成致しました。

各分野の専門講師により、下記の 6 件の講義が行われました。

- ①「振動の基礎」((一財)小林理学研究所：平尾善裕氏)
- ②「振動の法規および測定・評価方法」(神奈川県環境科学センター：横島潤紀氏)
- ③「建築物に関わる振動」(日本大学：富田隆太氏)
- ④「振動の予測方法(実習)」(石田振動環境研究室：石田理永氏)
- ⑤「振動の対策方法」(飛島建設：内田季延氏)
- ⑥「振動測定のノウハウと留意点(実験)」((株)ベネック振動音響研究所：林健太郎氏)

それぞれの講義においてわかりやすい解説と、④の講義では、振動伝搬の予測計算の実習、⑥の講義では実験により振動測定で留意すべき要点の解説が行われました。最後に Q&A の時間では、講義に対する質問や実際の業務に関連する質問など 30 件弱の質問を受け、講師及び事業部会員が回答いたしました。過去の講習会で、このように多数の質問をお受けしたことはほとんどなく、関心やニーズの高さが強く感じられました。今回初めての開催にも関わらず全国から 53 名の方々に御参加頂きました。有難うございました。

講習会後のアンケートでは、

- ▶ 業務に直結する内容や振動低減対策の事例を聞くことができ参考になった
- ▶ 事例が多く紹介されていてわかりやすかった
- ▶ 実験がわかりやすく、理解が深まった

など、今後の業務に役立つとの評価を多く頂戴いたしました。

本講習会は、好評であったことから次年度も実施する予定です。多くの方の参加をお待ちしております。



以上